

MY
米 PLACE 当麻

<http://www.ja-tohma.jp/>

JANUARY
2023

1

JA 当麻

Vol.629

TOHMA



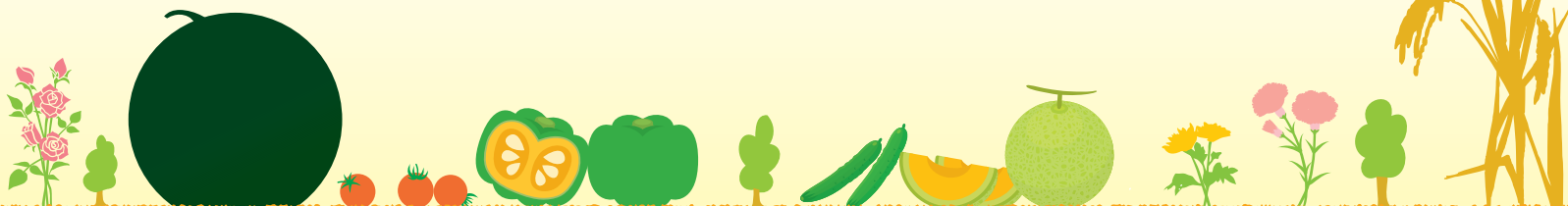
新春を迎え組合員皆様のご多幸を
お祈り申し上げますとともに本年も何卒宜しく
お願い申し上げます。

令和5年 元旦

複合経営により 安定した所得確保を目指す

- 新春挨拶2
- 組合のあゆみ9
- 新たな若い力に町をあげてエール
令和4年度 新規担い手就農者を祝う会開催10
- 当麻町そ菜研究会・当麻町花き生産組合
各部会定期総会及び作況反省会11
- 当麻町花き生産組合
第63事業年度定期総会及び全体作況反省会12
- 当麻町そ菜研究会

- 第57事業年度定期総会及び全体作況反省会13
- JA役員研修14
- 足あと15
- 令和5年度
JA当麻野菜集荷場受入カレンダー17
- 共済係からのお知らせ18
- みんなの広場19
- JATOHMA information20





令和五年の年頭にあたり

当麻農業協同組合 代表理事組合長 福井 幸 司

新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで健やかに令和五年の新春をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当JA事業に対しましては特段のご理解とご協力を賜っている事に役職員一同感謝申し上げます。

さて、昨年の当町における農産物の生産環境につきましては、春先より天候に恵まれたスタートではありましたが、六月初旬の低温や八月の雨量は一部品目において生育、収穫量に影響は出ましたが、天候の影響を受けました品目を除いては総じて良好に推移した気象条件であったと感じております。

しかしながら、依然として続く新型コロナウイルスとの戦いは長期化し、組合員皆様が、営農を営む中で三年余りも感染対策に心がけながら良質な農作物の生産にご努力され、更には組織活動、組織運営については、様々な規制、制限の多い中で大変なご苦勞を頂いている事にも重ねてお礼を申し上げます。

さて、農業情勢は長期化するコロナウィルス感染、更には国際紛争により国内農産物の生産環境、食糧需要事情が一変致しました。報道、紙面では毎日の様に世界各国における食料不足の問題を始め、食料安定確保に対する対策が取り上げられ、加えて円安による飼料、肥料を始めとする各諸資材の値上がりが大きく高止まりをし、農業経営に与える影響は甚大なものとなっております。また、既に直面している水田活用直接支払交付金制度の見直しは今も議論されている背景であり、これらの多くは農業生産に与える不安要素はあるものの、当JAは先人の皆様が築き上げて頂きました水稲・畑作・園芸との複合経営により安定した所得確保を目指す環境下にあります。

この様な時にこそ協同組合の原点である相互扶助の精神に立ち返り、JA、組合員、生産組織による協力が、大きな難局を乗り越えていけるものではないでしょうか。

か。今後も引き続きJAとともに生産組織活動を中心とした農業生産にご理解とご協力を節にお願い申し上げます。

令和四年度の農産物の集荷、販売と致しましては、水稲では作況指数で示されている様に北海道「一〇六」上川「一〇七」と公表の通り昨年に引き続きの豊作となり、カントリエレベーター、玄米バラ化施設を合わせまして二十万五千俵を超える実績となり、低蛋白比率も高く、良食味米として自信をもって販売出来るお米が集荷された事に感謝致します。園芸品目はキュウリを始めとする青果物全体で十二億八千万円、花き類は一億七千万円と水稲、園芸の両輪による複合経営は昨年度も安定した結果で終了する事が出来ております。この成果は昨年も当麻町より農業振興に対する多くの事業にご支援を賜っている事にあり、改めて感謝とお礼を申し上げます。

農業経営の安定にはこれからも水稲生産を中心とする複合経営の実践にあると思います。農業振興三ヶ年計画にお示しをしております園芸作物施設導入に対する支援事業を始めとする多くの事業の最終年となる本年もご利用をいただき農業経営の一役にお役立て頂ければ幸いです。

農業を取り巻く環境は毎年の事ではありますが厳しい課題が山積しておりますが、当JAと致しましては一步、二歩、先行するJAである為、最新情報の収集を行うべく、取引先への営業活動を活性化して参ります。

原点となる組合員皆様との「交流」「対話」については一時期のコロナ感染ピーク時から見ると少しづつではありますが、職員による圃場巡回、組織交流も出来る様になって参りました。コロナ感染の逸早い終息により活発な交流が出来る事を祈るばかりでございます。

本年度も天候に恵まれ実り多い豊穡の年となる事と組合員皆様のご健康で幸多い年となります事をご祈念申し上げます。

賀 春

本年もよろしく
お願い申し上げます。

代表理事組合長	福井 幸 司
常務理事	坂 下 一 登
理 事	舟 山 賢 治
理 事	豊 田 孝 行
理 事	佐 藤 孝
理 事	紺 屋 友 良
信用担当理事	住 田 昌 之
営農担当理事	水 口 智 善
代表 監 事	林 唯 晴
員 外 監 事	内 海 敬 裕
監 事	山 村 伸 二



令和五年の年頭にあたり

当麻町長 村椿 哲朗

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、令和五年の新春をご健勝のうちにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、三年目に突入した新型コロナウイルスに対する感染拡大防止と社会経済活動の両立、社会全体が「アフターコロナ」に向けて動き出す中、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化するなど、国内のみならず国際情勢も不安定な要素が増え、燃油肥料価格の高騰、温床資材をはじめとした資材費の高騰、水田政策の見直しなど、先行きに不安を覚えずにはいられない年となりました。

そのような中、水稲につきましては、北海道農政事務所が発表する作況指数は上川管内で「一〇七」となり、品質におきましては、高品質で特に例年にないほど低タンパクの傾向が顕著であったとお聞きし、生産者の皆様の並々ならぬ努力の賜物と敬意を表するところでありました。

そ菜につきましては、物価高騰など日本経済の低迷が続く中、安心安全な農産物を安定して生産することと、これまで積み重ねてきた市場との信頼関係を基にした販売面での取り組みにより、前年を上回る十二億八千万円を超える販売額を残されたことに心から敬意を表するところでありました。

花きにつきましては、販売面で苦戦を強いられる年が続きましたが、「大雪の花」ブランドの評価を守り続けていただいたことにより、販売額におきましては上向き傾向となったことなど、生産者の皆様の品質向上にかける日頃のたゆまぬご努力に心より敬意を表するところでありました。

町がふるさと納税として取組んでおります「まちづくり寄付金」も、コロナ禍の中、四億九千万円を超える実績となりました。今年度も全国の皆さんから非常に多くのご寄付をいただき、昨年並みの実績となるよう期待しているところでございますが、これもひとえに組合員の皆様が丹精込めて生産する農産物に、全国の方々が大きな魅力を感じていただいているものと捉えております。

田んぼの学校につきましては、春の田植え、秋の稲刈りともに、一部の児童のみによる実施となりましたが、三年ぶりに児童自ら田植えと稲刈りを行うことができました。「食育」はわが町が掲げる「心を育む」心育の大きな柱の一つでもあります。今年は子供達と町民の皆様が笑顔とともに「命をいただく大切さ」を共有できることを強く願っています。

長引く経済の低迷、燃油肥料資材の高騰など日本農業を取り巻く環境は、依然として予断を許すものではありません。当麻町としても引き続き、担い手の高齢化や、農業力不足に備えるべく、GPS技術を活用した自動操舵機や、野菜・花き栽培の土台となるハウス導入、ミニトマトの隔離栽培導入に対して、当麻農協と共に支援してまいります。

常に先を見据え、激化する産地間競争に勝ち抜き、当麻農業が持続的発展を果たす為にも、農業機関との連携をさらに密なるものとし、当麻農協はもとより各関係機関の足並みをしっかり合わせ、各課題に向き合っていくまいります。

先人たちの苦労と努力に想いを巡らせ、誰もが安心して暮らせるまちづくりと、町民のみなさんが思い描く、夢や希望を実現できるよう、創意工夫を凝らした施策を展開し、次の世代に誇れるまちづくりに努めてまいります。

最後になりましたが、本年が災害のない一年でありますことと、組合員の皆様にとりましてご健康で幸多い年となります様ご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます。

当麻町米麦改良協会 会長	福井 幸司
当麻米産地形成協議会 会長	日下部 裕一
当麻町そ菜研究会 会長	開田 厚志
当麻町花き生産組合 組合長	土井 清司
当麻町稲作研究会 会長	長谷川 新
当麻町コトリー利用協議会 会長	羽根 敏
当麻町水稲防除連絡協議会 会長	真鳥 修一
当麻町認定農業者協議会 会長	井上 雅司
当麻町農業法人会 会長	宮嶋 一洋
当麻町畑作経営協議会 会長	太田 弘
当麻町牧草生産部会 部会長	田中 信幸
当麻町農業税付協議会 会長	佐々木 康二
当麻町水田転作生産部会 会長	石田 信也
当麻町畑作委 連絡協議会 会長	石田 一光



令和五年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、組合員・役職員の皆様が一丸となり地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに對しまして、改めて敬意と感謝を申し上げる次第であります。

昨年の本道農業につきましては、春先は天候に恵まれ地域によって少雨の影響が見られたものの、その後は順調に推移しておりました。ただ、六月の降雹、八月の記録的な大雨、九月の台風により、一部地域、作物によっては、生育に大きな影響が出たものがありました。収穫作業は総じて順調に進み、天候の影響を大きく受けた作物を除いては平年作を確保することができました。

しかしながら、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、各農畜産物の消費は依然として低迷しております。

さらに、国際紛争や急激な円安の進行による飼料・肥料をはじめとした生産資材の高止まりが、農業経営に与える影響は甚大であり、北海道・全国連とも連携し、JAグループ北海道としてしっかりとその対応を図って参ります。

コロナ禍、国際紛争によって、世界の食料需給事情が一変しました。輸出制限を行い、自国の食料を確保する各国の動きが活発化し、世界的な人口増加による食料不足問題など食料争奪合戦がすでに始まっています。我が国の食料を安定的にどう確保するのか。今こそ大いに食料安全保障の国民的議論が必要となっています。

JAグループ北海道は、日本の食料基地であるという使命感に立ち、食料の安定生産・安定供給と農畜産物の需要拡大を両輪として引き続き取り組んで参ります。

今年は、第三十回JA北海道大会の実践二年度目となります。

決議された将来ビジョンである、「北海道五五〇万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」の実現に向け、様々な課題を解決する必要があります。

農業を取り巻く環境は厳しい状況が続いておりますが、このような状況であるからこそ、協同組合運動の原点に立ち返り、相互扶助の精神に基づき互いに協力し、力を合わせこの難局を乗り越える必要があります。

また、消費者に対しては、JAグループが提唱する、自国の国民が消費する食料はできるだけ自国で生産するという「国産国産」に対する理解を求め、消費者の行動変容に結びつけていくことが望まれます。

このためには、組合員、消費者との「対話」が重要となりますので、組合員・役職員が一丸となってしっかりと取り組んで参りましょう。結びになりますが、本年は卯年です。卯は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



令和五年の年頭にあたり

当麻町農業委員会 会長 住田 哲也

新年、明けましておめでとうございます。組合員の皆様におかれましては、令和五年の新春をご健勝のうちにお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より農業委員会活動の推進にあたりまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年の当麻農業を振り返りますと、ロシアのウクライナ侵攻による、燃油、物価等の高騰、また、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、営農活動に限らず日常生活においても不自由で不安感を伴う一年であったとご推察いたします。積雪が少なく、春の融雪も順調に進み、六月に入り低温で経過しましたが、その後は日照時間の確保、気温も高めに推移したこともあり、水稲におきましては上川管内の作況指数「一〇七」となりました。

そ菜につきましては、全体で十二億円を超える素晴らしい実績となりました。組合員みなさまのご努力と栽培技術の高さに、また当麻農協並びに関係機関の支援、連携体制に敬意を表するところがあります。また、花きにつきましても、コロナ禍ではありますが徐々に各種イベントや冠婚葬祭が開催され、影響が大きかった一昨年よりも高値で推移したと聞きしております。国内産地が減少する中、当麻ブランド「大雪の花」が例年どおり生産・出荷され、市場・消費者から高い評価を受けたことに安堵しているところがあります。

毎年十一月に農協、町、農業委員会により開催しております新規担い手就農者を祝う会において、昨年は四名の新規就農者と一組の新婚農業者をお祝いさせて

いただきました。大変うれしく感じるとともに当麻農業の担い手として、今後のご活躍を祈念申し上げます。

農業を取り巻く状況は、コロナ禍による新しい生活様式や社会経済活動、社会情勢の大きな変化をはじめ、異常気象への対応や加速する少子高齢化による担い手不足等、多くの課題を抱えておりますが、我々農業者が国民の食糧生産を担っているとの誇りを持ち続け、消費者へ安全・安心で安定的な農産物の供給を目指していかなければなりません。

当麻農業を持続させ守りぬくためには、将来をしっかりと見据え、効率的で安定的な農業経営を確保するとともに、農地の有効利用や担い手の育成・確保が重要であり、今後とも農業委員会の使命を果たせるよう、農地等の利用の最適化を積極的に推進するとともに、優良農地を次世代へ引き継ぎ守ること、担い手への農地の集積・集約化、新規就農者への相談対応等に取り組んでまいります。

農業委員会は毎月一回の総会において、許可申請や届出のありました案件について審議しております。委員一同、農地を守るために組合員みなさまのご指導と行政・各農業関係機関のご協力を賜りながら、慎重審議の上、公正な農業委員会の運営に努力する所存でございますので、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

結びに、本年も災害などに見舞われることなく、稔り豊かな一年になりますよう、併せて組合員みなさまとご家族のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭にあたったのご挨拶といたします。

賀 春

本年もよろしく
お願い申し上げます。

—当麻町農業委員会—

会	長	住田 哲也
会長職務代理	佐々木 康二	
委 員	高橋 裕一	
委 員	藤中 敏彦	
委 員	朴谷 和夫	
委 員	窪 郁夫	
委 員	杉山 央	
委 員	荒川 敏幸	
委 員	田中 信幸	
委 員	舟山 賢治	
委 員	福田 はるみ	
委 員	木下 和夫	
委 員	太田 正人	



新年にあたって

上川農業改良普及センター 所長 鈴木 康 義

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆様には、新たな気持ちで輝かしい初春をお迎えのことと存じます。

また、皆様には平素から普及センターの活動全般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、融雪期は平年と比べ七日早い四月二日となり、比較的温暖な春を迎えました。融雪後、耕起作業は平年に比べ四日早く始まり、その後も春耕期は好天に恵まれ順調な作付が行われました。六月前半に低温の期間がありました。その後の天候は順調に推移し、特に六月下旬から七月中旬にかけて、平年を上回る気温と十分な日照時間、降水量に恵まれました。また、台風等の接近が危ぶまれたこともありましたが、幸い大きな気象災害も無く、各作物とも平年作以上の生育となりました。

こうした気象経過から、上川地方における水稻の作柄は作況指数一〇七と昨年に続いて「良」、白米熟粒や胴割等も少なく、品質も平年並みとなる豊作となりました。また、各転作物、園芸作物ともに六月の低温による生育停滞等の影響は見られたものの、最終的には平年並みかそれ以上の作柄となりました。

このような作柄となりましたことは、気象条件や病害虫の発生に対応した、皆様のきめ細やかな栽培管理が結果に繋がったものと、改めて敬意を表するところであり、例年になく最低気温が高い等、気候変動による温暖化が好適に働いた結果も少なからずある

かと思えます。

気候変動対策や生産者の減少等に対し、国では一昨年より「みどりの食料システム戦略」として生産力向上と持続性を両立させる農業をめざしています。また、ウクライナ情勢の長期化等により、生産資材価格の高騰が農業経営に多大な影響を与えてる中、食品原料価格の値上がりが続く、食料安全保障等、農畜産物の国内生産に対する期待も高まりつつあります。先行きが予想できない状況ではありますが、当麻町農業の強みであります「水稻と施設園芸による複合経営」の潜在力、共同育苗・共選出荷等による生産と流通におけるメリットを最大限に活かし、こうした期待に対応していくことが重要と考えます。また、近年、道内で新たに確認される土壌病害も種々ありますが、そうした生産の阻害要因に対し適切に対処し、産地として安定的に需要に応えることができる組織力のある地域であり続けていくことを期待します。

普及センターも、今後の情勢を的確に捉まえて、組合員の皆様及び関係機関の方々と一体となり「地域の担い手を核とした活力ある農業を！」をキャッチフレーズに、生産振興と地域振興を支援してまいりますので、皆様の一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして健康で希望に満ちた良き年となり、また、豊穡の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

謹賀新年

上川総合振興局
上川農業改良普及センター

所長 鈴木 康 義
次長 松 浦 準
主任普及指導員 西 川 智 子
主任普及指導員 辻 敏 昭

地域第二係(当麻町担当)

係長 近 藤 睦
主査 小 柴 潤 一
主査 草 野 裕 子
専門主任 桂 川 さつき
専門普及指導員 野 原 弘 義
専門普及指導員 井 村 直 樹
普及指導員 水 尾 健 斗
普及職員 道 畑 乃 映



新年のご挨拶

JA当麻青年部 部長 三島 知 浩

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、健やかな新春を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

また、当青年部活動に対しまして、各関係機関の皆様より多大なるご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は罪なき人々の命を奪い世界を震撼させました。更に世界的な燃料高は営農を行う上で必要となる生産資材コストの高騰や輸送運賃の値上がり等様々な影響を与えており深刻な問題となっております。

当地の営農としましては、春先は温暖な気候に恵まれ雪解けが早く順調に春作業を進められたものと感じております。六月に入ると低温や連日の強風に見舞われ栽培管理に大変苦戦を強いられました。水稻に於いては、育苗・移植期間に気温が一時低下し生育が停滞しましたが、その後は天候が回復し平年と比べると草丈は長く、茎数も多めの傾向となり登熟期間におきましても好天で推移したことで、上川管内の水稻作況指数は「一〇七」と豊穰の出来秋となりました。品質面では被害粒の発生量は少なく、低蛋白率も高く良質米生産に繋がったものと感じております。青果類に於いては新型コロナウイルス感染症による人流規制が緩和され需要の回復が期待される中、道内外各産地の出荷が集中し厳しい販売状況となる時期もありましたが、出荷後半まで市場のニーズに合った高品質且つ安定した出荷となり、そ菜取扱販売総金額で昨年を上回る十二億八千万円の実績となりました。花き類に於いては、円安の影響により輸入切花の取扱量が減少したことから国内産の需要が高まり、一年を通して花き類全般において高価格で推移しました。

青年部事業につきましては、農協機械銀行事業と連携し乾田促進に向けた融雪材散布作業や水稻疎植栽培の現地研修会の開催、上青協並びに上女協の合同事業として上川管内の農産物消費拡大に向けたレシピア作成を女性部と合同で実施、視察研修にて札幌市に赴きスマート農業サミットへ参加し、ICT技術をはじめとする各企業の講習会の受講、稲わら収集作業を活動させて頂きました。

また、当麻町そ菜研究会主要三部会の道外視察研修へ青年部も数名同行させていただきました。今回の先進地視察を通して習得した技術を当地の栽培及び農業振興へ活かせるよう、部員へ情報を発信して参ります。今年度におきましても町内外行事は規模縮小や中止となり当麻農作物販売PRを行う場を設けられなかったことは非常に悔やまれるところであります。次年度としましては青年部活動を充実させ当麻農業の維持・発展に向け部員同士の交流や情報の共有を図り青年部員間で切磋琢磨して参ります。

私たちはこれからもより良い農産物生産を行えるよう各組織で開催されている講習会への参加や道内外への視察研修などを開催し、見聞を広め幅広い活動をしていくことが重要であると考えております。また、諸先輩方から引き継いだ伝統を次の世代へ継承していくかなければならないと感じており、今後の事業運営に努めて参ります。

最後になりますが、青年部員の皆様や各関係機関のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。今年も皆様が健康であること豊穰の出来秋を迎えられますことをご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

賀 春

—JA当麻青年部—

部 長	三 島 知 浩
副 部 長	井 上 雅 敬
副 部 長	日 下 部 涉
代 表 監 事	高 橋 佳 靖
監 事	山 下 裕 介
総 務 委 員 長	太 田 貴 仁
総 務 副 委 員 長	山 田 洋 暉
水 稻 委 員 長	岸 山 誠 人
水 稻 副 委 員 長	水 野 雄 貴
施設園芸委員長	辻 和 博
施設園芸副委員長	窪 晃



新しい年に

JA当麻女性部 部長 広 富 美恵子

新年明けまして、おめでとうございます。

令和五年の新春を皆様と共に迎えられた事を心からお喜び申し上げます。

また、日頃より女性部活動には、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、春先より好天に恵まれ、六月上旬には低温や集中豪雨などに見舞われましたが、一年を通して農業には適した良い天候となり、日頃の肥培管理を適切に行い作況も良く品質の良い農産物の出荷となり価格面においても豊穡の出来秋を迎えることが出来ました。コロナ禍の中、ロシアによるウクライナ侵攻や中国の輸出規制が原油価格の上昇と肥料を始めとする農業用資材の価格高騰、そして食料品を含むあらゆる生活必需品の物価上昇に繋がり、組合員の営農や日常生活に大きな影響を与えており、今後も厳しい経済環境が続くものと思います。

女性部活動としては、コロナの感染状況をみながら町内水道施設、旭山動物園への視察研修、三年ぶりに開催された町内仮装盆踊り大会、上川地区女性協議会中央部Bブロック研修会へ参加致しました。

社会貢献活動として当麻柏陽園でのシーツ交換、市街地区のゴミ拾いを行い、開明地区会館、伊香牛地区ブ

ラットホームの花壇作りを行いました。

また部員の親睦を深めるしめ縄作り教室を開催させて頂き、部員皆様にご理解とご協力を頂いたことに感謝を申し上げます。

今後の女性部活動と致しましては、部員、家族の健康を守る活動として一月に健康管理に関わる講習会を予定しておりますので、部員皆様には多数の参加を宜しくお願い致します。

次年度以降も感染状況を考慮しながら女性部活動を充実させ、部員皆様の情報交換やリフレッシュ出来る交流の機会が継続できるよう取り進め致します。

最後になりますが今後の日本経済の立て直しが進む事に期待し、JA当麻女性部としても高齢化や部員減少などの課題もありますが、日本の食、日本の食糧基地である北海道農業そして地域を守る為にもJAグループの一員として「国消国産」やSDGs(貧困や飢餓をなくす他十五項目)など日本の食の未来を守る女性部員としての自覚と啓蒙を行い、家族が笑顔で元気に過ごすために努力し、この年が皆様にとって素晴らしい一年になりますようご祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。

あけまして
おめでとうございます。

—JA当麻女性部—

部	部長	広 富 美恵子
副部	部長	角 谷 み か
副部	部長	豊 田 美記江
監	事	今 橋 祐 美
監	事	両 瀬 羊 子
理	事	国 沢 純 子
理	事	松 山 久 美 子

EXECUTIVE BOARD

次 の 事 項 が 審 議 さ れ 提 案 通 り 承 認 さ れ ま し た。

理 事 会 報 告

第46回理事会

令和4年11月25日

- 議案第1号 令和4年度10月末収支見通しについて
- 議案第2号 令和5年度営農計画書作成基準及び審査方針・審査基準について
- 議案第3号 企業年金規約の一部改正について
- 議案第4号 組合員の異動について



組合のあゆみ 11月

- 4 令和4年度新規担い手就農者を祝う会（大ホール 常勤）
- 7 西日本地区蔬菜取引先訪問対応
(11日迄 西日本地方 常務)
- 8 スーパーアルプス60周年記念行事
(12日迄 組合長)
- 16 信連仮決算報告及び経営者ディスカッション
(応接室 常勤)
- 令和4年産農産物集荷報告会（大ホール）
- 18 第2回役員推薦委員会（大ホール）
- 20 上川地区監事協議会道外視察研修
(23日迄 宮城・岩手県 監事団)
- 22 当麻町総合計画審議会（組合長）
- 23 秋季大祭「新嘗祭」(当麻神社 組合長)
- 24 当麻町総合計画審議会（組合長）
当麻町土地開発公社理事会（当麻町役場 組合長）
- 25 第46回理事会
- 28 関西地区蔬菜取引先訪問対応
(12月1日迄 関西方面 組合長)
- 花き類道内販売取引先挨拶対応（29日迄 札幌市 常務）

組合のあゆみ 12月

- 2 当麻町花き生産組合定期総会及び作況反省会（大ホール 常勤）
- 5 第24回監事会
全共連第5回運営委員会（北農ビル 組合長）
監事協議会代表者会議（旭川市 林代表監事）
- 6 当麻町そ菜研究会定期総会及び作況反省会
(大ホール 常勤)
- 7 旭川厚生病院運営委員会（旭川市 組合長）
第6回上川地区組合長会議（ // ）
- 9 当麻町農業税対協議会第19回定期総会
(大ホール 組合長)
- 上川中央部農協連絡協議会冬期研修会
(旭川市 組合長・常務・信担)
- 14 留萌・上川・宗谷合同JA常務・参事会議（旭川市 常務）
- 15 11月末定期監査（21日迄 監事団）
- 22 上川地区農協米対策委員会（JA上川ビル 組合長）
上川地区農協畑作・青果対策委員会（ // ）
上川地区農協酪農畜産対策委員会（ // ）
- 23 第47回理事会
役員コンプライアンス研修会
- 27 上川地区農協酪農畜産対策委員会（JA上川ビル 組合長）

J A 直 営 農 産 物 直 売 所

【JA直営農産物直売所 冬期休業のお知らせ】

令和4年6月18日より営業しておりました農産物直売所は、11月5日（土）をもって今期の営業を終了致しました。
たくさんのお客様にご愛顧いただき、誠に有難うございました。
直売所事業にご理解、ご協力をいただきました組合員の皆様に心からお礼申し上げます。

11月4日 令和4年度 新規担い手就農者を祝う会開催 ～農業関係者が新たな門出を祝う～

当麻町、当麻町農業委員会、JA当麻の3団体が主催となり、新規担い手就農者を祝う会が農協3階大ホールにて開催され、農業関係者42名が出席する中、今年度、当麻町内で新規就農された方々を激励致しました。

主催者を代表して村椿町長より「当麻農業の強みは各関係機関が課題を迅速に共有していくというところにあります。新規就農者そして新婚農業者の皆さんにはオール当麻の農業の力を集結してサポートして参りますので、この強みを最大限に活用していただき、これからの当麻農業を明るい未来へ繋げていっていただくことをお願いします」と挨拶。JA福井組合長から「今年も多くの担い手を迎えることができ嬉しく思います。農業は天候相手の仕事でありますので非常に苦労することもあります。その時は是非一人で悩まず人との繋がり、生産組織との繋がりを大事にアドバイスをもらいながら難局を乗り越えていただきたいと思います。乗り越えたその先に見える達成感、喜び、ロマン、素晴らしいものがありますので成長されて活躍いただくことを祈念申し上げます」とエールを送りました。

また、当麻町議会片原産業福祉常任委員長、JA青年部三島部長よりお祝いの言葉が贈られ、JA北海道中央会などJAグループ5団体から激励状が、主催3団体から記念品が贈呈されました。

新規就農者は「農業に関する知識・技術の向上を目指し、当麻農業の発展に貢献できるよう努力して参ります」とお礼の言葉を述べました。



新規就農者

たむら ようすけ
田村 洋介さん (北星1区)

主要栽培作物： 水稻、牧草

今後の抱負：

農業に関する知識・技術の向上を目指し、安定した農業経営を行いたいです。皆様、ご指導のほど宜しくお願い致します。



おがわはら ゆうた
小川原 悠太さん (中央4区)

主要栽培作物：

水稻、ミニトマト

今後の抱負：

農協の様々な取り組みを知り、同じように努力していきたいと思います。



かんの りゅうせい
菅野 琉聖さん

(中央7区)

主要栽培作物： 水稻、そば

今後の抱負：

早く仕事を覚えて1人前になれるように頑張ります。



いくた かずや
生田 和也さん

(宇園別2区)

主要栽培作物： 水稻、デントコーン

今後の抱負：

当麻町のお米をPRしたいです。



新婚農業者

いとう まさともしょこ
伊藤 方朝さん 淑子さん (北星1区)

主要栽培作物： 胡瓜

今後の抱負： 夫婦で協力し、良い成績を出せるよう頑張ります。

※生田和也さん、伊藤淑子さんについては当日欠席となっております。

当麻町そ菜研究会・当麻町花き生産組合 各部会定期総会及び作況反省会

当麻町そ菜研究会、花き生産組合各部会の定期総会及び作況反省会に、多くの部会員の皆様にご出席をいただきました。

つきましては、今年度の各品目の販売実績を掲載致します。

令和4年度野菜販売実績 11月末現在

品 目	総販売額（千円）	前年比	出荷重量（kg）	前年比	kg単価（円）
キ ュ ウ リ	666,621	96%	2,964,303	96%	225
ト マ ト	831	62%	4,173	45%	199
ミ ニ ト マ ト	359,541	110%	549,800	98%	654
で ん す け す い か	187,843	117%	428,180	110%	445
メ ロ ン	13,058	106%	25,430	105%	513
南 瓜	13,141	120%	73,398	118%	179
菜 豆	6,265	126%	7,086	117%	884
葉 菜	23,123	133%	60,427	139%	383
ナ ン バ ン	2,614	122%	8,043	133%	325
豆 類	414	94%	675	88%	614
椎 茸	259	78%	513	99%	506
そ の 他	7,205	125%			

令和4年度花き販売実績 11月末現在

品 目	総販売額（千円）	前年比	出荷本数（本）	前年比	単価（円）
菊	100,164	105%	1,319,115	96%	76
カ ー ネ ー シ ョ ン	21,209	125%	378,810	100%	56
バ ラ	23,025	103%	164,154	94%	140
草 花	13,599	94%	288,746	84%	
そ の 他	12,452	104%			

【各部会役員名簿】

各部会定期総会にて、役員の任期満了に伴う役員改選が行われましたので、新役員をご報告致します。

[でんすけ部会] 部会長 宇園別2-1区 伊林 和彦 副部会長 伊香牛3-3区 平岡 智孝 中 央1-2区 高橋 利文	[キュウリ部会] 部会長 宇園別3-1区 齋田 浩二 副部会長 開 明2-3区 美頭 勇二 東 1-3区 高橋 佳靖	[トマト部会] 部会長 伊香牛2-2区 赤木 宏志 副部会長 北 星3-1区 菅野 史昭 開 明3-1区 青森 賢一	[南瓜・メロン・葉菜豆部会] 部会長 北 星2-2区 天野 充博 副部会長 伊香牛2-2区 朴谷 和夫
---	--	--	--



12月2日 総販売金額2億円を目標に 当麻町花き生産組合 第63事業年度定期総会及び全体作況反省会



定期総会の様子

農協3階大ホールにて当麻町花き生産組合第63事業年度定期総会及び全体作況反省会が開催されました。

開会冒頭、田中組合長より「今現在、肥料始め生産資材が高騰している訳ですが、生産者は勿論、農協職員の努力もあり各品目ともかつてない高単価で終わることができました。また今年度につきましても、当麻町より花き支援事業として助成をいただいたこと、町・農協各施設に花を飾っていただいたことに感謝とお礼を申し上げます。これからも生産者一丸となりブランドの拡大を目指していきたいと思っておりますので皆様のご協力をお願いいたします」と挨拶。

次に、JA坂下常務理事、村椿町長からの来賓祝辞の後、定期総会議事にて令和4年度事業報告、令和5年度事業計画（案）について審議され、提案通り承認されました。

また、役員改選では伊香牛2区 土井清司さんが新組合長となり、新たな役員体制で今年度の活動がスタートいたしました。

引き続き行われた全体作況反省会では、今年度の花き栽培管理努力により高品質な生産・安定的な出荷を行い優秀な成績を収めた生産者に表彰が行われ、田中組合長より表彰の盾が贈呈されました。続いて事務局より、今年度の販売実績・市場販売情勢について報告がなされました。

最優秀賞 伊香牛1区 坂本 拓生 様

『花き栽培において栽培管理努力により高品質な生産を行い安定した出荷に努め、出荷本数において極めて優秀な成績によるものです。』

優秀賞 比布町 太田 茂 様

『花き栽培において栽培管理努力により高品質な生産を行い安定した出荷に努め、出荷本数において優秀な成績によるものです。』

菊班

功労賞 中央5区 中瀬 宏 様

『多年に渡り高品質かつ安定的な菊類の生産に尽力され組織発展に大きく寄与されたものです。』

洋花班

功労賞 中央4区 小林 政夫 様

『多年に渡り高品質かつ安定的な草花類の生産に尽力され組織発展に大きく寄与されたものです。』



挨拶をする土井新組合長



表彰の盾

新役員

組合長 伊香牛2区 土井 清司
副組合長 緑郷1区 大泉 貴文
中央2区 畠山 譲

理事 中央4区 小林 政夫
中央6区 弘中 幸男
伊香牛2区 赤木 宏志

理事 比布町 勝見 宏彰
監事 中央6区 松尾 昭春
比布町 太田 茂

12月6日 環境に左右されない強い産地づくりを目指す 当麻町そ菜研究会第57事業年度定期総会及び全体作況反省会



定期総会の様子

農協3階大ホールにて、当麻町そ菜研究会第57事業年度定期総会及び全体作況反省会が開催され、そ菜研究会員、各関係機関担当者など約60名が出席されました。

始めに朝野会長より「今年でコロナ禍3年目になりますが、平時の時には温泉に1泊し、労を労いながら親睦を深めてきた訳ですが、コロナ禍がこれほど長く続くとは想像をしていませんでした。昨年米価が下落したと聞いた時に、複合経営がいかに大切か、野菜においても先人達が築き上げた品目の中から作物を選択できることは大変幸せだと思います。

今年度、町・農協からの多大なる支援により、100%助成のハウス導入などありましたが、それが当たり前だと思わず、感謝の気持ちを持ちながら作物生産に向かっていただ

きたいと思います」と挨拶。

続いて、令和4年度優秀出荷者の表彰が行われ、各部会品目において優秀な出荷成績を収められた生産者へ朝野会長より表彰盾が手渡されました。

次に来賓を代表して、JA坂下常務理事、村椿町長より祝辞をいただき、議事では令和4年度事業報告、令和5年度事業計画（案）について審議され、役員改選では副会長の開田厚志さんが会長となり、新たな新執行体制でのスタートとなりました。

総会終了後行われた全体作況反省会では、事務局より今年度の各部会実績・情勢経過・道内外の各品目別取扱数量などが報告されました。

キュウリ部会

最優秀賞 宇園別3-1区 斎田 幸宏 様

トマト部会

最優秀賞 伊香牛3-2区 鈴木 隆之 様

でんすけ部会

最優秀賞 中 央3-4区 楠木 敏明 様

南瓜・メロン・葉菜豆部会

「南 瓜部門」 最優秀賞 中 央3-4区 楠木 敏明 様

「メロン部門」 最優秀賞 開 明2-3区 (株)美頭農園 様

「葉 菜部門」 最優秀賞 宇園別2-3区 辻 和博 様

新役員

会 長	宇園別2-2区	開田 厚志
副 会 長	宇園別2-3区	山田 雅夫
	緑 郷3-1区	川上 裕一
監 事	中 央2-3区	真鳥 修一
	宇園別3-1区	斎田 幸宏



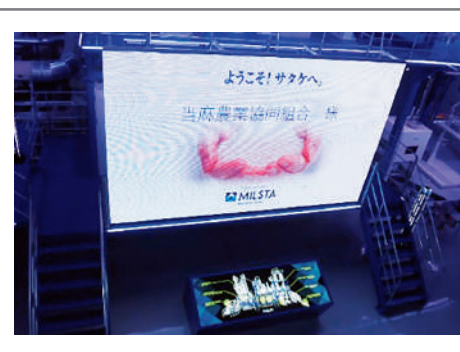
JA当麻役員研修

10月25日から28日までの4日間の日程にてJA当麻役員研修が開催されました。

今回の視察内容としては、26日にサタケ精米システム、物流の拠点となる福岡ソノリク物流センター、27日に野菜のカット・パッケージ工場を所有する倉敷青果、当麻米の関西圏での販売を手掛ける伊丹産業並びに関西スーパーマーケットを視察致しました。

最初の視察先であるサタケでは、最先端の技術を駆使した精米システムであるミルスタの実物を見学しております。今回見学した精米システムは月間の生産能力が2,000tであり、システムの中でもロング・ライフ・ライス・プロセス（LLRP）は、玄米に混入している貯穀害虫の殺虫、玄米の表面に付着する細菌等の殺菌を目的として開発された設備であり、この装置を使用することで玄米・白米ともに、品質の向上、保存性の向上及び食味と食感の向上に期待できるとのことです。

福岡ソノリクでは、関西、中四国、九州にそれぞれ集配配送拠点となる物流センターを所有した集配ネットワークを展開しております。現在の農産物の物流は、消費動向や小売店のニーズに応じて出荷量をコントロールすることが求められており、高度な長期保管技術が必要とのことです。鮮度の低下をおさえる貯蔵システムを使用し、様々な農産物を長期にかつ新鮮に保存しているとのことです。今回訪問した岡山物流センターでは、約3,200tの貯蔵が可能な冷蔵倉庫を完備し、当組合の農産物の取り扱いもあります。物流を制する者は商流を制するとも言われ、物流の重要な拠点となっております。



倉敷青果では、生活スタイルの変化（単身世帯の増加、女性の社会進出、高齢化、外食・中食の増加）に伴い、野菜需要も変化していくことにいち早く対応し、加工・業務用野菜需要に対応した取り組みを実践しております。市場内にカット工場を完備し、実需者である量販店、コンビニ、外食店等のニーズに対応した食の安全・安心、定時・定量・定品質・定価格を実現しているとのことです。また産地からカット工場まで一貫したコールドチェーンの確立、カットした野菜残渣を飼料原料や堆肥化も行っており、青果市場並びにカット野菜部の売上はともに右肩上がりです。



伊丹産業、関西スーパーマーケットでは、今後の米の販売動向や販売情勢の情報提供をいただき、当地の令和4年産米の作柄等について情報交換を行っております。関西スーパーマーケットは、関西圏に64店舗を展開し、社員1,155名、パート他2,842名の従業員を雇用しており、従業員の健康維持と管理に加え、本社には作業実習室な

などの教育施設が充実した企業であります。特に関西スーパーが他にない当社自慢の品として当麻産の「今摺米きたくりん」5kg袋とパックごはんを広告で大きく取り上げていただき、店舗には通常の陳列の他に特設コーナーを設けてお客様の目を引き、手に取りやすいように並べられており、推奨商品での販売促進対応を感じるところでありました。

引き続き当JAとして、農産物の販売先や物流を含めた取引先との強固な関係を保ちながら、先進的な技術や設備等の情報を逸早く取り入れ、販売に関連する取引先における情報収集に努め、多くの農産物が安定的、かつ鮮度が維持された状態で消費者のもとへ届くよう役員一同取り進めて参ります。



11月16日

生産組織・役職員合同農産物集荷報告会

農協 3 階大ホールにて、生産組織代表と J A 役職員による令和 4 年産農産物集荷報告会を開催いたしました。

各担当より農産物の実績、令和 4 年産米の全国情勢、各種補助事業の情報提供などの説明が行われました。



11月28日

当麻町水稻防除連絡協議会定期総会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に鑑み、書面による決議をお願いさせていただきました。

農協 3 階大会議室にて行われた当麻町水稻防除連絡協議会定期総会では、当麻町水稻防除連絡協議会委員 11 名全員の書面議決書が提出され、総会成立となりました。

議題では、令和 4 年度事業報告並びに収支決算報告、令和 5 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について、全議案が原案通り承認されました。



11月30日

当麻町施設園芸ヘルパー利用組合定期総会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に鑑み、書面による決議をお願いさせていただきました。

農協 3 階大会議室にて行われた当麻町施設園芸ヘルパー利用組合定期総会では、当麻町施設園芸ヘルパー利用組合員 43 名中、5 名が出席、38 名の書面議決書が提出され、総会成立となりました。

議題では、令和 4 年度事業報告並びに収支決算報告、令和 5 年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議され、役員改選では新組合長に宇園別 3 区 齋田浩二氏が就任し、新たな体制でスタートを切りました。



新 役 員

組 合 長	宇園別 3 区	齋 田 浩 二
副組合長	緑郷 1 区	大 泉 貴 文
	開明 2 区	美 頭 勇 二
監 事	中央 6 区	松 尾 昭 春
	東 1 区	高 橋 佳 靖



12月1日

J A 女性部 しめ縄作り教室

悪天候の中、J A 女性部 10 名がコロナ禍の中でマスクを着用して換気を行いながらしめ縄作り教室に参加致しました。昨年のリース作りから当麻町花工房「比呂」の中島さんを講師に招き、各部員が豪華でボリュームのあるオリジナルのしめ縄作りに奮闘しました。

女性部活動もコロナ禍の影響で少ない参加部員でしたが、今後も感染防止を徹底し、交流の場を設けますので女性部活動にご理解とご協力をお願い致します。



12月9日

当麻町農業税対協議会定期総会

当麻町農業税対協議会では、農協3階大ホールにて第19回定期総会を開催致しました。

始めに佐々木会長より「来年からインボイス制度が始まり、年明け3月までに登録しなくてはならないとのことです。これから開催予定の研修会で勉強いただければと思います。当協議会といたしましてもそれに対応するべく、また会員の皆様に周知するべく対応して参りますので、会員皆様のご協力をお願いいたします」と挨拶。続

いて村椿町長、JA福井組合長から来賓挨拶のあと事務局より、令和3年度活動報告及び収支決算報告、令和4年度活動計画（案）及び収支予算（案）が審議され、全議案が承認されました。

当麻町そ菜研究会 道外視察研修

当麻町そ菜研究会主要3部会では今後の組織活動や施設園芸作物の振興に繋げる事を目的に青年部と共に道外視察研修を行って参りました。

キュウリ部会につきましては、11月7日～9日の日程でキュウリの産地である福島・埼玉方面へ赴き、福島県ではJA夢みなみにて選果施設「きゅうりん館」を拝見させて頂きました。選果機については、キュウリの傷や鮮度を示すイボが取りにくい仕様の「無落差無転倒方式」を採用していると説明頂きました。埼玉県では(株)埼玉原種育成会へ赴き、試験圃場にて部会品種である「まりん」の当地とは異なった栽培方法や新品种である「706」について品種特性を伺いました。



でんすけ部会につきましては、11月13日～15日の日程でスイカの主力産地である熊本県へ行って参りました。JA鹿本へ赴き、瓜類選果場と圃場を拝見させて頂きました。選果場では、同じ選果機で大玉・小玉・メロンを選果する多品目に対応出来る選果機でありました。また、受入は生産者が自家用車にてバラ積みで運搬し受入レーンに流すという当地と異なる仕組みを取り入れておりました。圃場視察については、収穫目前のハウスを拝見し防虫ネットによる害虫被害対策や土壌病害の対策方法について生産者を交え意見交換を行いました。

トマト部会につきましては、11月20日～22日の日程でミニトマトの主力産地である熊本県にて視察を行って参りました。熊本県の産地であるJAやつしろへ赴き、ミニトマト選果場と生産者圃場を拝見させて頂きました。選果施設では、日量45tの処理能力を持ち、自動箱詰機や積み下ろしロボットを用いて人件費の削減に努めているとの事でありました。生産者の圃場視察では品種や栽培方法、土壌病害の対策について産地動向を伺い栽培方法についての情報交換を行いました。



令和5年度 JA当麻 野菜集荷場 受入カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

 の印は受け入れ休みとなりますので、ご協力をお願い致します。

宮農販売課 TEL84-3201

相続にそなえる

一時払 終身共済

(平28,10)

JA共済の

「まとまった資金でのそなえ方」

長生きの時代にそなえる

一時払 介護共済

一時払終身共済 (平28,10)

0歳～90歳までご加入いただける、一生涯の死亡保障！

一時払
共済掛金
9,787,870円

50歳ご加入

死亡共済金

●死亡の時

10,000,000円

一生
涯
保
障

ご契約例 (令和4年4月現在)

50歳・男性
一時払共済掛金 9,787,870円

【ポイント】

- 死亡共済金を相続対策にご活用いただけます。
- 加入当初から一生涯にわたって、お亡くなりになられた時の保障が確保できます。
- 医師による診査は必要なく、簡単な告知でお申し込みいただけます。
- やむを得ずご解約された場合でも一定期間経過後は一時払共済掛金と同額をお取りになれます。

一時払介護共済

40～75歳までご加入いただける、一生涯の介護保障！

一時払
共済掛金
9,312,060円

50歳ご加入

介護共済金

10,000,000円

死亡給付金
9,312,060円
(一時払共済掛金の額)

一生
涯
保
障

ご契約例 (令和4年4月現在)

50歳・女性
一時払共済掛金 9,312,060円

【お支払事由】

- ▶介護共済金
 - ①公的介護保険制度に定める要介護2～5に認定されたとき (JA共済独自基準)
- ▶死亡給付金
 - ①介護共済金のお取りがなくなったりなられたとき (一時払共済掛金の額)

※やむを得ずご解約された場合でも一定期間経過後は一時払共済掛金と同額をお取りになれます。

死亡共済金と共済掛金の受取差額 約21万円

健康状態によってはご契約をお引きできない場合があります。

介護共済金と共済掛金の受取差額 約68万円

※責任開始時以後に生じた病気またはケガによる場合に限りです。
※介護共済金をお支払いした場合にはご契約は消滅します。
※健康状態によってはご契約をお引きできない場合があります。

今すぐできる相続対策!! 一度考えてみませんか？

家族のために資産をおトクに相続! ～相続対策に生命共済を活用するメリット～

1 節税対策

死亡共済金には「相続税の非課税枠」があるため、現金で財産を遺すより、相続税額を軽減することができます。

2 納税資金対策

預貯金と異なり、すぐに現金化できるため納税資金を素早く準備できます。

3 遺産分割対策

死亡共済金の受取人を指定することで、遺産分割時のトラブルを防ぐことができます。

加入年齢別共済掛金 (男性・共済金額1,000万円の場合)

加入年齢	一時払共済掛金	死亡共済金	受取差額
40	9,666,370円	10,000,000円	333,630円
50	9,787,870円	10,000,000円	212,130円
60	9,900,630円	10,000,000円	99,370円
70	9,954,850円	10,000,000円	45,150円

※令和4年1月時点の法令等に基づいています。税制改正や相続税改正等があった際は変更になることがあります。将来を保障するものではありません。
※解約時の違ひ金はお払込みいただいた共済掛金の額を限度となります。早期にご解約される場合、お払込みいただいた共済掛金を下回ることがあります。
※上表中の年齢は契約日時点の年齢です。

将来の備えとして**預貯金**されている方へ

1 一生涯の保障で安心!

公的介護保険制度に連動したわかりやすい保障で、不安の高まる高齢期も安心して備えていただけます。

2 相続対策もばっちり!

お亡くなりになった場合、一時払共済掛金と同額の死亡給付金をお取りいただけます。死亡給付金は相続税の非課税枠の対象となるため、相続税額軽減にお役立ていただけます。

3 簡単に共済金が請求できる!

あらかじめ指定した方からの共済金請求が可能なため、ご本人がご請求できない状態でも安心して共済金をご活用いただけます。

加入年齢別共済掛金 (女性・共済金額1,000万円の場合)

加入年齢	一時払共済掛金	介護共済金	受取差額
40	9,054,990円	10,000,000円	945,010円
50	9,312,060円	10,000,000円	687,940円
60	9,571,780円	10,000,000円	428,220円
70	9,818,220円	10,000,000円	181,780円

※令和4年1月時点の法令等に基づいています。税制改正や相続税改正等があった際は変更になることがあります。将来を保障するものではありません。
※解約時の違ひ金はお払込みいただいた共済掛金の額を限度となります。早期にご解約される場合、お払込みいただいた共済掛金を下回ることがあります。
※上表中の年齢は契約日時点の年齢です。

万ーのリスクにそなえる 終身共済 1型全期前納プラン

ご契約例 令和4年4月現在
 ■50歳加入(男性) ■55歳払込終了
 ■全期前納 ■共済金額1,000万円 ■口座振替扱い

一生 生涯 保障

**ご入り用の
タイミングで
ご解約される
まで、無駄なく
運用することが
できます!**

全期前納共済掛金
8,737,202円

解約返れい金
9,184,260円 (受取差額 447,058円)
共済金額
10,000,000円 (受取差額 1,262,798円)

※途中の数字は解約返れい金の万円未満を四捨五入して表しています。
 ※健康状態によっては、ご契約をお引受できない場合があります。

■上記ご契約例の場合の解約返れい金

共済年度	年齢	解約返れい金	受取金額
3	52	▲272,735円	
5	54	▲251,232円	
8	57	▲117,752円	
10	59	▲28,772円	

共済年度	年齢	解約返れい金	受取金額
13	62	8,841,530円	104,328円
15	64	8,929,490円	192,288円
18	67	9,058,960円	321,758円
20	69	9,143,060円	405,858円

※記載の解約返れい金の表示金額は、各共済年度の12月1日に解約を行った場合の試算値であり、解約された日によって異なります。
 ※年齢は各共済年度の契約応当日時点のものを示します。

共済金額は柔軟に設定することが可能です
 なお、表記の共済掛金等は加入年齢や性別によって異なりますので、まずはお気軽にご相談ください!

注意事項および用語の説明

●途中で解約された場合、保障はなくなります。また、返れい金がお支払いいただいた共済掛金の総額を下回るごことがありますので予めご了承ください。
 ●「万ー」ときは、元で、所定の第1級後継障害の状態・所定の重要度介護状態のいずれかに該当する場合のことです。

貯蓄しながら火災・自然災害等にそなえる

建物更生共済 1型全期前納プラン (住宅内収容家財家具)

ご契約例 家財主契約・住宅物件・耐火造C・共済期間10年・共済掛金1,000万円・火災共済金額1,000万円
 満期共済金額1,000万円・全期前納・家財費用共済金等不担保特約有り(令和4年4月現在)

共済掛金(全期前納)
9,998,899円 10年後 **満期共済金 10,000,000円**
 満期共済金の受取差額+1,101円

→満期を4年受け取る楽しみだけではなく、共済期間中に生じた火災や自然災害などによる損害に対して、**最大1,000万円まで**そなえることができます。

共済期間は10年プランに加え、5年プランもお選びいただけます
 上記ご契約例の場合の共済掛金(全期前納) (構造・共済期間別)

構造	10年プラン		5年プラン	
	共済掛金(全期前納)	満期との差額	共済掛金(全期前納)	満期との差額
耐火造A (国造コンクリート造等)	9,970,612円	29,388円	0円	10,035,393円 ▲35,393円 7,079円
耐火造B・C (省令耐火建物等)	9,998,899円	1,101円	0円	10,051,139円 ▲51,139円 10,228円
木造火災 (非燃焼等)	10,110,748円 ▲110,748円	11,075円	11,075円	10,111,627円 ▲111,627円 22,326円

■契約から5年以内に満期共済金(解約返れい金)を受け取る場合には、満期共済金(解約返れい金)に契約した金額を加えたものから累計払込共済掛金を控除したものの20.315%(所得税等16.315%・住民税5%)の差額を分給返金の対象となります。6年以降は満期共済金(解約返れい金)を受取る場合については、一時所得となり、50万円超過の所得割額が適用されます。令和4年1月1日現在の法令等にもとづいて、各条の取扱いを確認するものではありません。■満期共済金のお支払いについては所定の条件があります。■「受取たのり」の受取差額(全期前納共済掛金-満期共済金)は共済期間・受取期間に差額が全期前納共済掛金より多くなる場合があります。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせは
JA当麻 金融共済課
TEL 0166-84-2124 まで

【20201518101】

知りタイガーのJA虎の巻

知りタイガーのJA虎の巻

第29回
JA全国大会決議
JAグループの実践

【今回のテーマ】



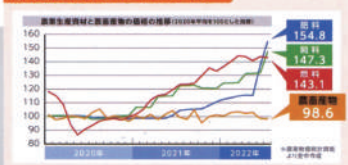
JAグループがすすめる「国民理解の醸成」って、具体的にどういった取り組みなの？

動画

林修先生のミニレッスン動画
みんなの食料安全保障（約7分）JAグループサポーター
林先生と学ぶ

みんなの食料安全保障

農畜産物は値上げしにくい



JAグループサポーターの林修先生が、「国産国産」の意義や農畜産物の適正な価格形成の重要性について、分かりやすく解説する動画です。

私たちが生きていくうえで欠かせない「食」と、それを生産する「農」を未来につなぐため、その大切さについて国民全体で理解を深めていただくための取り組みです。



ロシアによるウクライナ侵攻等による影響で食料価格が世界的に上がったことで、食料の約6割を外国に頼ることの危うさが浮き彫りになりました。加えて、肥料や家畜のエサ、燃料など、農業生産に欠かせない資材の価格上昇が、生産現場に打撃を与えています。

こうした課題に対しJAグループは、『国』民が必要として『消』費する食料はなるべく『国』内で生『産』する『国産国産』という考え方の意義や、農畜産物を外的環境もふまえた適正な価格で販売することの重要性について、分かりやすい情報発信に取り組んでいます。

※2021年、カロリーベース



耕そう、大地と地域の未来。

タテのカギ

- 初詣で、受験を控える子の難関——を祈願した
- 2つで1組の——茶わん
- 客のためにワインを選びます
- 師匠の下で学びます
- 親から子へ受け継がれます
- ・中期・末期
- 年賀状によく書かれる2文字の熟語
- 湖に張った氷に穴を開けて楽しむこともあります
- 登山やキャンプで使う寝袋
- コンコンと鳴く動物
- 警察は原則として——不介入です

11月号の答えは…

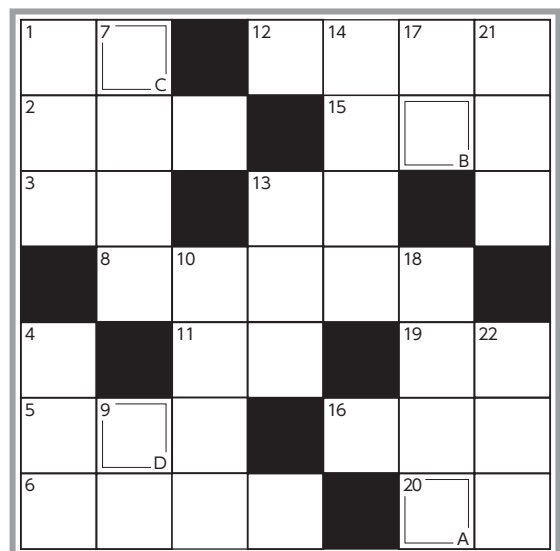
A	B	C	D	E
ア	カ	ワ	イ	ン

ヨコのカギ

- 正月に飲む薬酒。お——気分がなかなか抜けない
- 髪の毛の渦巻き
- エッフェル塔がある都市
- 練り物やダイコンを煮込んで作ります
- 自分より後に生まれた人はみんなこれ
- 食事の管理や指導を行います
- 去年はナスの——がとても良かった
- 太鼓や木琴トライアングルなどのこと
- 毛筆でしたためることも
- 大学入学共通テストは国公立大学だけではなく——大学も利用しています
- 計画のこと。お得な宿泊——
- 京都・三十三間堂の通し矢で新成人が引きます
- ・ニタカ・三ナスビ

1	メ	イ	ジ	15	ア	カ	シ
2	モ	ン	セ	イ	エ	ン	
	カ	イ	バ	19	デ	マ	
3	ホ	ケ	ン	16	サ	イ	
4	ウ	デ	14	ゴ	ル	フ	
5	キ	ン	12	ロ	ウ	21	エ
6	ギ	ワ	ク	17	モ	ア	イ

頭の体操

クロスワード
パズル二重マスの文字を、
A～Dの順に並べてできる
言葉は何でしょうか？

年末・年始の営業について

年末年始の営業を下記の通りとさせていただきますので、宜しくお願い致します

	業 務 納 め	業 務 初 め
本 部 事 務 所	12月30日(金)	1月5日(木)
金 融 関 係	12月30日(金)	1月4日(水)
現金自動預払機(ATM)	12月30日(金)	1月4日(水)
資 材 事 務 所	12月30日(金)	1月5日(木)
給 油 所	12月31日(土) 正午まで営業	1月4日(水)～6日(金) 8:30～17:00まで営業

営農販売課からのお知らせ

令和5年度の共同育苗苗（野菜・果実）の申し込みについて

令和5年度共同育苗苗の申込書につきましては、既に部会員の皆様を対象に配布しております。申込期限については12月23日（金）迄となっておりますので、まだ申し込みをされていない方は種子注文等ありますので、早めに営農販売課までご提出願います。

また、新たに部会加入される方は営農販売課にて加入手続きとその要領を理解していただき、苗の申し込みをお願い致します。

一般苗の申し込みについては1月10日（火） からとなっております。部会品目の苗生産時期以外や余力スペースにて生産致しますので、ご希望に添えない場合もありますので、ご理解いただき、印鑑持参の上、営農販売課まで申し込み下さい。



JA当麻 No.629

発行日 令和5年1月
発行 当麻農業協同組合
編集 金融部融資相談課
住所 上川郡当麻町4条
東3丁目4番63号
電話 0166-84-2420
JA当麻ホームページ
URL <http://www.ja-tohma.jp/>

今月の運勢



♈ 牡羊座
(3/21～4/19)

気持ちを引き締め丁寧な所作を心がけて。高めの目標設定が良い運氣を呼び込みます。あいさつ周りと宴席にツキ



♉ 牡牛座
(4/20～5/20)

早めのスタートが勢いに乗ること。予定は前倒しで進めましょう伝統文化に触れる機会を大切に。和服も◎



♊ 双子座
(5/21～6/21)

礼儀正しい態度で好感度が上昇。やりたいことがあるときほど周囲の話をよく聞いて。協力者が現れる予感です



♋ 蟹座
(6/22～7/22)

あれこれ言われてキャバオーバーになりがち。全部やるうと思わないで。状況整理から入ると良い案が浮かびます



♌ 獅子座
(7/23～8/22)

運勢は活気づき活躍の場が増えていきます。フィットワーク良く動けるよう身軽な状態にしておきましょう



♍ 乙女座
(8/23～9/22)

初心に返り謙虚に、着実に動いていきましょう。大きな実りが期待できます。うれしいニュースを届けてくれる人も



♎ 天秤座
(9/23～10/23)

時間調整の難しいとき。1人で動いた方がストレスは少なそう。共同作業が必要なことは丁寧に説明を



♏ 蠍座
(10/24～11/22)

情報収集に力を入れて。問題解決に近づきます。いつもの作業にも新たな気付きがありそう。清掃や洗濯にツキ



♐ 射手座
(11/23～12/21)

ピンチをチャンスに変える力強さがあります。状況は厳しくても諦めないで。反対意見に耳傾けると逆転へ



♑ 山羊座
(12/22～1/19)

勢いのある好調運ですが独り善がりにならないように。周りの人のことを思って行動すると好結果に。金運も良好



♒ 水瓶座
(1/20～2/18)

上昇運です。周囲が協力してくれ良い方向に進みます。1人で悩まずに相談を。良い知恵も貸してもらえます



♓ 魚座
(2/19～3/20)

自分の意見を少し譲ると思っていた以上にスムーズに進みます。予定や計画も実行しやすいように手を加えてみて